

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道483号 <small>ひだかとおおかのみなみどうろ</small> 日高豊岡南道路		事業区分	高規格幹線道路	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県豊岡市上佐野 至：兵庫県豊岡市日高町久斗				延長	6.1 km
事業概要	北近畿豊岡自動車道は豊岡市から丹波市に至る延長約70kmの高規格幹線道路であり、京阪神と丹波・但馬地域との連結を強化する自動車専用道路ある。日高豊岡南道路は、北近畿豊岡自動車道の一部を形成し、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と連携した広域ネットワークを形成し、日常生活の基盤となるとともに、地域の活性化を図ることを目的とした道路である。					
H13年度事業化	H17年度都市計画決定 (H-年度変更)	H-年度用地着手	H-年度工事着手			
全体事業費	330億円	事業進捗率	- %	供用済延長	- km	
計画交通量	21,900~27,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 4.3 (残事業) 4.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 271/276億円 (事業費：236/241億円) 維持管理費：35/35億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1182/1182億円 (走行時間短縮便益：1011/1011億円) 走行費用減少便益：127 / 127億円 交通事故減少便益：44 / 44億円	基準年 平成17年		
感度分析の結果	交通量変動：B/C=4.8(交通量+10%) B/C=3.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.0(事業費+10%) B/C=4.8(事業費-10%)					
事業の効果等	・災害への備え（並行する国道312号の交通混雑の緩和、災害時の代替路の確保） ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他15項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	日高豊岡南道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等特に重要な役割を果たすことが期待されており、豊岡市、養父市をはじめとする3市2町及び5団体による「北近畿豊岡自動車道早期実現促進大会」が平成7年より毎年開催され、早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	但馬地域では人口は減少しているが自動車保有台数が増加傾向となっており、自動車への依存が高い。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成18年1月17日 都市計画決定					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	-					
施設の構造や工法の変更等	事業実施にあたっては、周辺の景観や環境への影響を最小限にする工夫を行いつつ、新技術、新工法を積極的に採用するなどコスト削減に努める。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。